まちウォッチング Watching

↓サツマイモ掘りをするあおなみ保育園の園児たち

おっきいお芋おいしそう

あおなみ保育園 サツマイモ掘り体験

10月7日に、あおなみ保育園の4歳児と5歳児によるサツマイモ掘り体験が行われました。

この体験は、子どもたちが作物の生育や収穫に関わることで、食育と地域との交流を図ることを目的に行われ、当日は保護者や地域のボランティアも参加しました。

園児たちは、我先に土を掘り起こし、たくさんのサツマイモを収穫していました。

↓消火用ホースの使用方法について指導を受ける参加者たち

地域を守る。全員で

早瀬区自主防災会 防災訓練

10月3日に、早瀬区自主防災会による防災訓練が実施されました。

訓練では、参加者らが消火栓や消火用ホースの使用方法を学んだ後、実際に放水を行いました。

参加者らは、訓練を通して防災等への意識を高めると共に、有事の際には身近な人同士で助け合うことを確認し合っていました。（関連第25頁）

↓園庭を走る園児たち

よ〜い、ドン！

みずうみ保育園 運動会

9月25日に、みずうみ保育園の運動会が開催されました。

当日は、リレーや縄跳び等の種目の他に、ダンスの発表や未満児による親子競技が行われました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、応援者数は制限されましたが、園児たちは力いっぱい競技等に取り組んでいました。

↑ダンスを披露する園児たち

↓いちほまれを収穫したせせらぎ保育園の園児たち

おいしいお米いただきます

せせらぎ保育園 稲刈り体験

9月24日に、せせらぎ保育園の5歳児による稲刈り体験が行われました。

稲刈りを行った田んぼは、春に園児たちが自ら田植えをしたもので、これまで散歩の時間等に稲の生育を見守ってきました。

園児たちは、普段食べているお米がどのように作られているのかを教わりながら、稲刈りを楽しんでいました。

↓報告を行った美方高校ボート部の皆さん

男女ともに春夏連覇！

美方高校ボート部 インターハイ報告会

9月14日に、美方高校のボート部が町役場を訪れ、インターハイの報告を行いました。

報告会には、男女の舵手付きクォドルプルで優勝したクルーと女子シングルスカルで3位となった清水空選手が出席しました。

戸嶋町長は「追われる立場で相当な重圧があったと思うが素晴らしいレースだった」と活躍をたたえました。

↓戸嶋町長から米寿の記念品を受け取る山口幸子さん（大藪）

これからもお元気で！

すこやか長寿者訪問

9月30日と10月1日に、戸嶋町長が町内の88歳（米寿）と99歳（白寿）以上の方を対象に訪問しました。

今年、町内で米寿を迎えられる方は52人で、白寿以上の方は9人となっています。

米寿を迎えられた山口幸子さん宅を訪問した戸嶋町長は「これからもお元気で」と言葉をかけ、長寿を祝うと共に、記念品を贈呈しました。

↓久々子湖沿いのごみを拾う参加者

湖をいつまでも美しく

三方五湖一斉清掃

9月26日に、三方五湖一斉清掃が行われました。

この活動は、三方五湖の環境と景観の保全を目的に、三方五湖保全対策協議会が主催したもので、町内外の団体や企業等16団体、約130人が参加しました。

参加者は、久々子湖等の周辺を中心に、道路や側溝に落ちているごみを拾い集め、可燃ごみ約290kg、不燃ごみ約80kgを収集しました。

すこやか放送局

健康・福祉・子育てに関する情報をお知らせします。

高齢者のインフルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成します!

インフルエンザは、気温が下がり、空気が乾燥し始める時期から流行します。

予防接種の効果は、接種を受けてから抵抗力がつくまでに約２週間かかり、その後５か月間効果が持続するといわれています。インフルエンザが流行する前に、なるべく早く予防接種を受けましょう。

助成実施期間

令和３年10月１日(金)～令和４年１月31日(月)

ⓘ この期間以外に接種した方については、助成の対象となりませんのでご注意ください。

対象者

美浜町内在住で、昭和31年12月31日までに生まれ、接種日に満65歳以上となる方

ⓘ 誕生日が昭和31年10月１日以降の方は、満65歳を迎えてから通知いたします。

自己負担額

1,800円(１人１回)

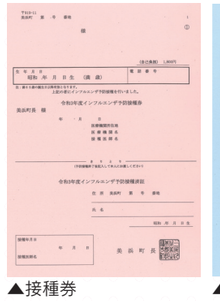
ⓘ 生活保護世帯の方は、自己負担額が免除されます。

新型コロナワクチン等との間隔

新型コロナワクチン接種とは、２週間以上の間隔を空けてください。また、その他のワクチン接種を受けた方は、接種される医療機関にご確認ください。

予防接種時に持参するもの

①インフルエンザ予防接種券(ピンク色の用紙)
※忘れると接種を受けられません。
②予防接種予診票(水色の用紙)
※予診票は必ず事前に記入してください。
③自己負担金(1,800円)
④保険証、または接種を受ける病院の診察券



▲接種券

▲予診票

町内では下記の医療機関で予防接種が受けられます

▶浅妻内科
▶関根クリニック
▶田辺整形外科医院(※)
▶美浜町東部診療所
▶さわい皮ふ科クリニック(※)
▶美浜町丹生診療所

※事前予約が必要です。

●医療機関によって接種可能な曜日や時間が異なるため、事前にご確認ください。
●敦賀市や若狭町の指定医療機関でも接種が受けられます。それ以外の医療機関での接種をご希望の場合は、下記までお問い合わせください。

無料 美浜町コミュニティバスの無料券を発行します!

予防接種の際に、美浜町コミュニティバスを利用される方には、無料券を発行しますので、事前にお問い合わせください。

※お問い合わせ先　町健康福祉課(担当・北澤)　☎32－6704

子どもインフルエンザ予防接種助成について

町では、子育て支援事業「すくすく美浜っ子サポート事業」の一環として、お子さんのインフルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成しています。

お子さんの感染予防対策と保護者の負担軽減のため、本年度より助成対象を満6か月から18歳の方に拡充しました。

■対象者

平成15年4月1日～令和3年6月30日生まれで、接種日に満6か月以上の子ども
※対象者には個別に助成券を送付します。

■助成内容

助成券を使用することで、1人1回の接種につき、1,000円を助成

■接種回数

満6か月～13歳未満▶2回まで
13歳以上▶1回(医師が特に必要と認める場合は除く)

■助成実施期間

令和3年10月18日(月)～令和4年1月31日(月)
※この期間以外に接種した方については、助成の対象となりませんのでご注意ください。

■助成券が使える医療機関

レイクヒルズ美方病院、美浜町東部診療所、美浜町丹生診療所、浅妻内科、関根クリニック、さわい皮ふ科クリニック
※医療機関によって接種可能な年齢や日時が違うため、事前に電話でご確認の上、受診してください。

■その他の医療機関での予防接種

その他の医療機関で予防接種を受ける方も、別途申請・請求することで予防接種費用の助成を受けることができます。申請様式は、子ども・子育てサポートセンターまたは町ホームページから取得できます。

※お問い合わせ先　町子ども・子育てサポートセンター(担当・山口)　☎32－0192

精神保健福祉普及運動について

精神保健福祉普及運動とは

地域社会における精神保健及び精神障がい者の福祉に関する理解を深め、精神障がい者の早期治療並びにその社会復帰及び社会参加を促進します。また、精神障がいの発生を予防し、精神的健康の保持及び増進を図り、精神障がい者の福祉の増進や国民の精神保健の向上を図ります。

心の病気にかかっていませんか

ストレスが強すぎたり、抑うつ状態が長く続いていたりすると、心身のエネルギーを消耗し、自分から「助けて!」と声をあげられない場合があります。

そのため、本人の異変に周囲が気づき、早めに相談機関や専門家へつなげることが重要です。

もしかして、うつ病かも!?

自分で感じる症状	周囲がわかる変化
□憂うつ	□表情が暗く元気がない、涙もろい
□気分が落ち込む	□体調不良の訴えが多い
□何にも興味が持てない	□周囲との交流を避けるようになる
□何をするにもおっくう	□遅刻、早退、欠勤(欠席)が増加する
□よく眠れていない　等	□落ち着きがない
	□飲酒量が増える　等

早い段階で相談することが大切 相談室

身動きがとれないほど、追いつめられ、取り返しのつかないことになる前に、誰かに相談しましょう。

ⓘ相談するメリット①　心が軽くなる

話すだけで心が軽くなります。共感してもらって心が落ち着くと、気持ちも変わってきます。

ⓘ相談するメリット②　自分を客観視できる

感情的になっている、混乱している等、自分の状況に気づくことができます。

ⓘ相談するメリット③　解決法に気付ける

相談することで自分の状況を整理できると、問題解決の糸口を見つけやすくなります。

※お問い合わせ先
町健康福祉課(担当・藤木)　☎32－6704

ふるさと昔よもやま話 (115)

美浜の渋沢栄一!?
～山本直成の生涯～

若狭国吉城歴史資料館で開催した夏季企画展「水戸天狗党と美浜～佐柿で過ごした浪士たち～」では、佐柿生まれの尊王攘夷の志士で、明治時代の実業家山本直成について紹介しました。

9月号では、小浜藩の准藩士として佐柿で過ごした水戸浪士が、明治維新により水戸帰藩を果たしたことを紹介しましたが、当時彼らに同行した小浜藩士の一人が直成でした。

実業家としての直成の活躍は、明治時代以降「美浜の渋沢栄一」と呼ぶに値するものでした。

直成は、天保9(1838)年9月18日、小浜藩卒の山本直幸の子として、佐柿に生まれます。青年時代は志士として活動し、文久元(1861)年、24歳の時に岩倉具視に仕え、岩倉の公武合体政策に力を尽くします。当時の岩倉は過激な尊攘論者から政策を厳しく非難され、命を狙われていました。この時、直成が身をていして岩倉を守ったことが評価され、明治2(1869)年、直成は小浜藩から正式に岩倉家の使用人として同家に引き抜かれます。以後、20年以上同家に仕えました。

初めは同家の会計を担当していましたが、同9年に同家の家令になると実業家として民間経済の発展に力を尽くします。同10年、彼は秩禄処分により貧困に陥った華族の負債を調査すると共に、岩倉が主導した第十五国立銀行(後の十五銀行。現在は三井住友銀行に合併)の創立に携わります。後に彼は、同行の常務取締役に出世します。

その他、日本鉄道会社理事・日本郵船会社監査役等、数々の要職を歴任します。彼は福井県でも活動しており、同28年に創立の小浜鉄道株式会社で計画された若狭地方の鉄道敷設に出資していました。同社は同30年に仮免許状が交付されますが、資金不足により同33年に失効します。

同30年、直成は岩倉を支えた明治維新の功労者として従五位を授けられます。

このように、彼は実業家として活躍する一方で、故郷の発展にも貢献していました。彼は、佐柿の日吉神社の拝殿や要道尋常小学校(後の佐柿尋常小学校)や河原市の弥美尋常高等小学校(後の耳尋常高等小学校)に寄付を行っています。

直成は、同44年に実業家を引退し、晩年を神奈川県酒匂村(現在の小田原市酒匂)の別荘で過ごします。そして、大正4(1915)年7月10日、78歳で人生の幕を閉じました。

美浜町生涯学習センターなびあすでは、直成の生涯をパネルや写真等で紹介するサテライト展示を開催中です。ぜひご来場ください。

(若狭国吉城歴史資料館)

↑山本直成の肖像写真
(山本直哉氏所蔵)

文芸欄

短歌

かをり歌会美浜支部

東京の暮らしを綴る友の文
越してひと月慣れただろうか
川崎　和美(久々子)

沢潟は稲に負けじと背伸びして
白き花弁を掲げておりぬ
松下　幸子(久々子)

猛暑日の暑さ和らぐ日暮れ時
甥の声夏の過ぎ行く
高木　勝美(新庄)

夏になり「食べたいものは」と問われなば
金冠瓜の浅漬けと言ふ
田波　耕(竹波)

パラ五輪女子マラソンに六十八歳
完走めざし八位入賞
岸本　和子(松原)

残光に映る山並み黒々と
彩雲の妙飽きず眺むる
三宅　宏(大藪)

秋たけて黄金の稔に安堵しも
米価は作らぬ人に決められ
山本　善昭(竹波)

この秋は好天続きで楽楽と
穫り入れ仕事無事に終わりぬ
成田　和夫(中寺)

ハートフル広場

慶弔

9/1～9/30 受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
吉田 結依	女	勇人・加奈	早瀬
小川 曌澄	男	達矢・悠香	山上
石丸 未織	女	直樹・亜紀	山上
松本 陽真	男	晃良・真依	河原市
新藤 想空	男	康介・結奈	佐野
渡邉 知広	男	拓矢・菜摘	日向
若松 天棚	女	慶一・佳織	金山
丸安 想世	男	陽平・明日香	大藪

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
岡崎 義生	丹生	87	岡崎 良一
小嶋 博子	河原市	73	小板 さおり
川藤 秀子	久々子	92	川藤 秀樹

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

わが家のアイドル

中井 誠さん・和佳菜さん
(佐田)の長男

稜賀(りょうが) ちゃん(1歳5ヶ月)

ボクの名前はりょうが!でんぐり返しが得意だよ。

マイブームは絵本を読んでもらうことやアラジンの歌を聞くこと、おそうじ、畑の水やりかな。あとは、食べることも大好きだよ。

みんなお友達になってね～!

町人(まちびと)さん

早瀬区自主防災会で
会長を務める

久嵜 彰 さん(早瀬)

(関連第21頁)

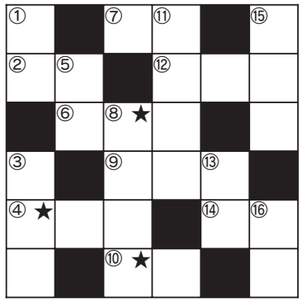
＊早瀬区自主防災会ではどのような活動をしていますか。

早瀬区自主防災会では、防災の意識を高めることや、災害が発生した際の自助と共助の重要性を区民に周知しています。

＊今後の活動について教えてください。

町の補助金を活用して、災害時に使用する資機材の配備を予定しています。また、火災や災害時の避難方法等を継続的に周知し、身近な人同士で助け合って命を守ることを伝えていこうと思います。

広報みはま・ハートフルクイズ



こたえ ○○○

－よこカギ－
② 消毒の際に有効。○○塩素酸ナトリウム。
④ 実行の日時を延ばすこと。○○○を与える。
⑥ 肩までの高さが147㎝以下の馬の総称。
⑦ 穴を掘り、地下水を汲み取れるようにしたもの。
⑨ 戦いをするために軍隊等を配置している場所。
⑩ 一年のうちで最も雨の降り続く季節。
⑫ 建物の中の細長い通路。走ってはいけない。
⑭ 神奈川県の南部に所在する市。横浜市や鎌倉市と隣接している。

－たてカギ－
① こより等に番号や印を書き、誰に当たるか分からない状態にして引かせるもの。
③ 魚や野菜等の味が最も良い時期。
⑤ 会合や訪問等の約束。
⑧ 同じ数字や文字を2回かけること。
⑪ 航空写真の撮影や農薬の散布に用いられる。
⑬ 一定の地域の状態を縮小して平面に描いた図。
⑮ 2層以上ある建物等で、地表から2層目の階。
⑯ 哺乳類に属する。オスには角がある。

●応募方法
★印のマスの文字を並べ替えると土地・地区・場所の名称ができます。はがきに、答えと住所、氏名(お便りも大歓迎!)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192 美浜町郷市25-25)まで送ってください。

締切りは、11月10日(水)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。
【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp
【QRコード】

●10月号の答え　金山
●応募者総数は32人で全員が正解でした。
当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

広報みはま No.610
発行：美浜町　編集：まちづくり推進課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25
TEL.0770-32-6701
FAX.0770-32-1115
URL https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/
machidukuri@town.fukui-mihama.lg.jp

■くらしのカレンダー■

令和3年11月

1（月）	
2（火）	13:00～心配ごと相談(はあとぴあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談(はあとぴあ)
3（水）	文化の日 9:00～町政功労者表彰式(なびあす) 10:00～なびあすアートフェスタ 文化交流祭ステージ発表(なびあす)
4（木）	古紙（耳地区:河原市・南市・栄区を除く）
5（金）	
6（土）	10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔) 10:00～なびゲーランド(なびあす)
7（日）	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 9:00～miniハートフルウォーク2021in南西郷(こるば) 10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔)
8（月）	
9（火）	9:30～保育園開放(みずうみ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとぴあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとぴあ)
10（水）	美浜美術展(なびあす)　～20日 9:30～保育園開放(あおなみ保育園) 10:00～ミニさくらんぼ(文化会館) 古紙（北・南地区）
11（木）	10:00～1歳児教室(はあとぴあ) 古紙（河原市・南市・栄区）
12（金）	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園)
13（土）	9:00～新型コロナワクチン接種(子ども・子育てサポートセンター) 10:00～結婚相談(はあとぴあ) 10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔)
14（日）	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入(～12:00 エコクル美方) 9:00～miniハートフルウォーク2021in北西郷(北西郷公民館) 10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔)
15（月）	
16（火）	13:00～心配ごと相談(はあとぴあ) 13:00～弁護士法律相談(はあとぴあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談(はあとぴあ)
17（水）	古紙（東地区）
18（木）	
19（金）	19:30～第4回町民人権講座 講演　「私」からはじめる「私たち」の多様性社会(なびあす)
20（土）	10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔)
21（日）	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔)
22（月）	
23（火）	勤労感謝の日
24（水）	
25（木）	13:15～1歳6か月児健診(はあとぴあ)
26（金）	
27（土）	8:00～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・大腸がん検診・肝炎検査](はあとぴあ) 10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔) 13:00～総合健診[肺・大腸・子宮・乳がん検診](はあとぴあ)
28（日）	8:00～ハートフル朝市感謝セール(久々子水神公園広場) 10:00～三方五湖サイクルピクニック2021(三方五湖湖畔) 8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入(～12:00 エコクル美方)
29（月）	
30（火）	13:00～心配ごと相談(はあとぴあ)

11月の納税［納期限 11/30(火)］※納付は口座振替が便利です。
国民健康保険税（5期）

●イベント　●健康診査・検診　●子ども行事　●ごみ・資源回収
●行事の予定は、10月15日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
●□網かけの日は、役場はお休みです。
●古紙は古紙回収日、後に続く（　）内は回収地区です。
●休日の当番医に関するお問い合わせ先　町役場 ☎32-1111（代表）　美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数 9,141人（+ 4）	自然動態　+ 5
男 4,482人（+ 5）	出生　9人
女 4,659人（- 1）	死亡　4人
世帯数 3,669世帯（- 4）	社会動態　- 1
	転入　11人
	転出　12人
	応援人口 160人（+ 3）

令和3年10月1日現在 ※（　）は前月比

こんにちは まちづくり推進課です。

暑い日が続いていますが、朝・夕は秋らしい気候になってきましたね。

先日、夏に開催が予定され、延期となっていた夏フェスタ美浜の花火を取材しました。昨年に続き、出店等は今年も中止となりましたが、花火だけでも打ち上げたいと、実行委員会をはじめ多くの方々が尽力されたことと思います。

花火といえば、夏のイメージが強いですが、秋の夜長に打ち上がる花火もまた違った良さを感じました。（宥）

▽表紙の写真
9月28日に、せせらぎ保育園の園児が、新庄の大谷原で行ったサツマイモ堀り体験の様子です。
自分たちの顔の大きさくらいあるサツマイモを次々に掘り出し、歓声をあげて喜んでいました。